

くよみ通信

No. 03 2019/02/01

カタクリの花畑になりますように



1月17日、「青陵の森」の、カタクリの花が咲くあたりを整備しました。

カタクリの花は春先、可憐な薄紫の花をつけます。やつと春が来たことを告げて、2週間ほどで消えてしまうので、「春の妖精」とも言われているようです。

日当たりのいい場所を好むので、整備の中心は、日陰を作る余計な草や落ち葉をはらって、太陽が当たるようにすることです。

今年は、ダメでも来年、来年がダメなら再来年、少しずつでも、だんだん広がってくれればうれしいですね。

元「青陵の森愛好会」OBの大沼さんの記憶をもとに、



今後の活動予定

2/21(木)

「新しいお花畑探し」

- 集合 10:00 仙台青陵中等教育学校
- 会員のみ参加可能
- カマ、軍手、ノコギリなど道具類
- ミズバショウ**の場所を確認します。
- 早めに終了し、来年度、春からの活動を計画したいと思います。

3/21(木)

「カタクリの花群生地整備」

- 集合 10:00 仙台青陵中等教育学校
- 会員のみ参加可能
- カマ、軍手、ノコギリなど道具類

ネットでも「くよみ通信」が見られます
<http://www.sendai-shimincenter.jp/aoba/yoshinari/>

→ 上が before (ビフォー・前)、下が after (アフター・後)



↑ 落葉が積もったカタクリの群生地(だろろうと思われる)を整備
← 楠が生えていた第2の群生地。チョコレートで、一服



↑ 左が before (ビフォー・前)、右が after (アフター・後)

2か所、整備しました。場所は、春が来てからの楽しみ。滝の傍です。カタクリはかつて、その根から「片栗粉」が作られていました。今では、ジャガイモなどのデンプンに替わりましたが、名前は残りました。私たちには身近な植物だったのですが、現在は、各地の絶滅危惧植物に指定されています。大切にしたいものです。

くよみ郷土研究会では、新入会員を募集しています